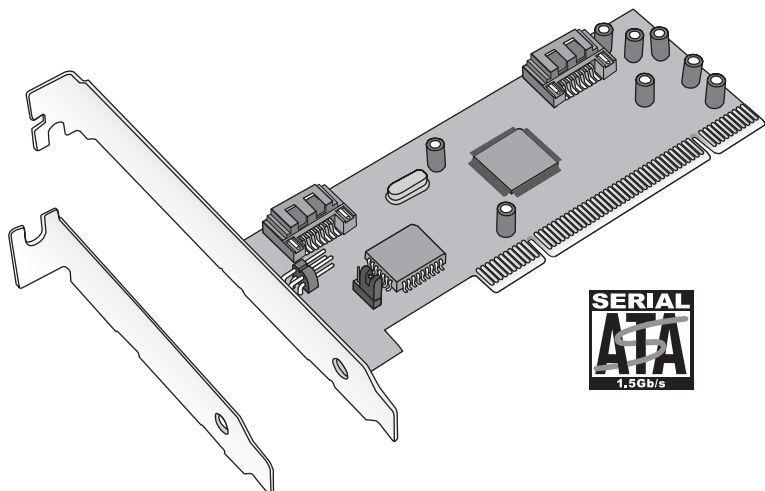


SATA PCI Board

# REX-PCI15S

## ユーザーズマニュアル

2008年7月 第4.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため  
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

**RS** RATOOC Systems, Inc.

#### 〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- PCI-SIG、PCI Express、PCI Expressロゴは、PCI-SIGの登録商標です。PCIeは、PCI-SIGの商標です。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

# 目次

●	安全にご使用いただくために	2
<b>1</b>	はじめに	3
	-1. 動作環境	3
	-2. 内容物の確認	3
	-3. 各部の名称	4
	-4. Low Profile PCIで使用する場合	4
	-5. 本製品が使えるようになるまでの手順	5
	-6. 使用上の注意	5
<b>2</b>	セットアップ	6
	-1. PCIボードの取り付け	6
	-2. ドライバのインストールと確認	7
	-3. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール	12
<b>3</b>	ホットプラグツールの使い方	13
	-1. ホットプラグツールを使用する方法	13
	-2. ホットプラグツールの設定画面について	16
	-3. ホットプラグツールの終了について	17
<b>4</b>	ホットプラグツールの削除	18
<b>5</b>	PCIボード経由でOSをインストールする	19
	-1. ジャンパースイッチを設定する	19
	-2. PCIボード経由でOSをインストールする	19
<b>6</b>	お問い合わせ	22
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	22
	-2. プロダクトキーについて	22
	-3. 修理について	23
<b>7</b>	一般仕様	24
<b>8</b>	オプション品のご案内	24
●	REX-PCI15S 質問用紙	

## 安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

### 表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



**注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

#### 【電波障害自主規制について】

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 1

## はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

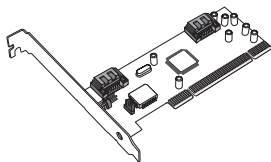
本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

### 1-1. 動作環境

- ◆ 対応OS : Windows Vista/XP/2000 ※Windows Vista/XPは64ビット版にも対応
- ◆ 対応機種 : PCIスロット(PCI Rev.2.1以降)を装備したWindows PC  
※nForceおよびnForce2チップセット搭載のマザーボードでは使用できません。
- ◆ 対応デバイス : SATAに準拠したデバイスに対応
  - ・弊社製リムーバブルケース(SA-RC1シリーズなど)
  - ・内蔵ハードディスク

### 1-2. 内容物の確認

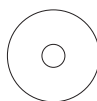
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。  
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



● REX-PCI15S  
(SATA PCI ボード)



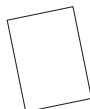
● Low Profile用ブラケット



● ソフトウェア  
CD-ROM

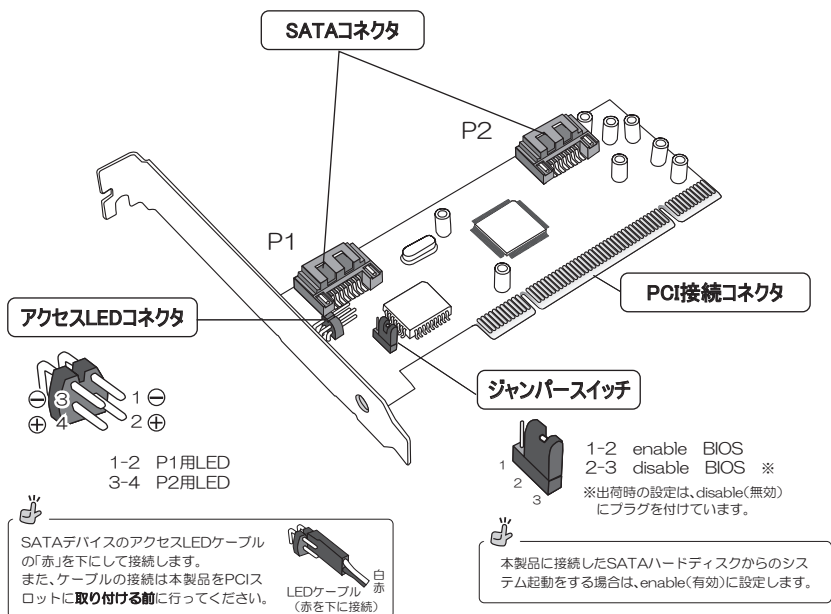


● ユーザーズマニュアル  
(本書)



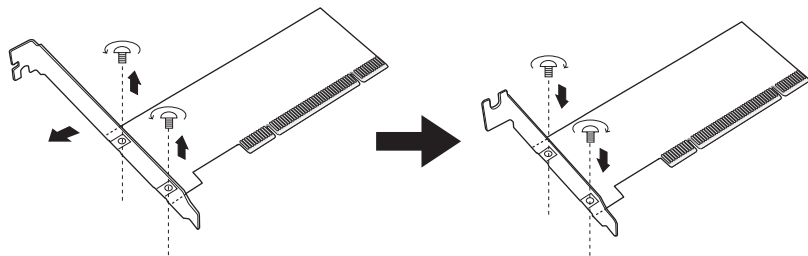
● 保証書

## 7-3. 各部の名称

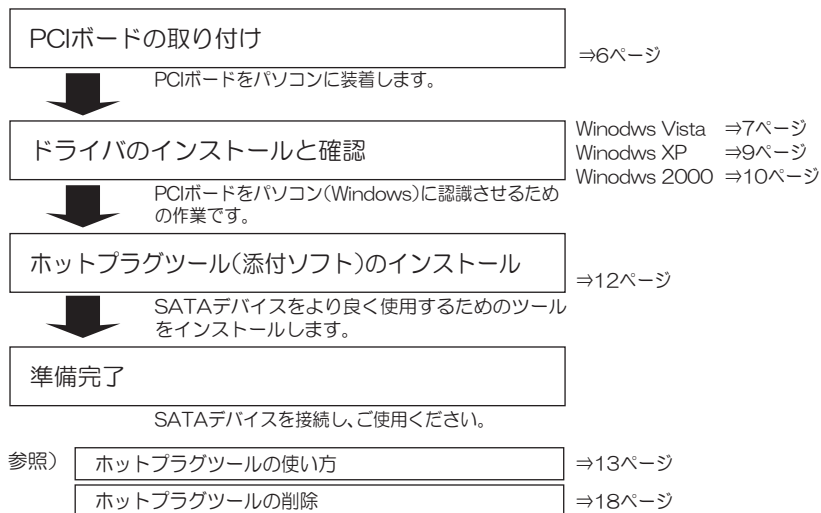


## 7-4. Low Profile PCIで使用する場合

Low Profile(ロー・プロファイル) PCIスロット搭載パソコンで使用する場合は、下図を参考にし、添付のブラケットに付け替えてください。



## 7-5. 本製品が使えるようになるまでの手順



## 7-6. 使用上の注意

- 複数枚は使用できません。
- 他のSCSI、IDE、SATA増設ボードと同時に使用できません。
- nForceおよびnForce2チップセット搭載のマザーボードでは使用できません。
- ジャンパースイッチを「BIOS有効」設定することにより、接続したSATAハードディスクからのシステム起動が可能となります。なお、出荷時はBIOS無効です。  
また、本製品に接続したSATAハードディスクにOSをインストールすることができます。ただし、パソコンにより方法が異なりますので、サポート・保証は致しかねます。
- 3Gbps対応デバイスを接続した場合は、1.5Gbpsでの転送となります。
- SATAケーブルは最大100cmで接続してください。
- SATAデバイスへの電源供給はできません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

# 2

## セットアップ

以下の手順でセットアップを行ってください。

### 1. 【PCIボードの取り付け】：

パソコンの電源を切り、PCIボードをスロットに取り付けます。

### 2. 【ドライバのインストールと確認】：

パソコンの電源を入れ、PCIボード用のドライバをインストールします。

インストール後、デバイスマネージャ上で正しく認識されていることを確認します。

I. Windows Vistaの場合

II. Windows XPの場合

III. Windows 2000の場合

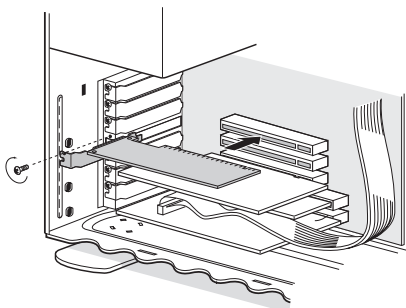
### 3. 【ホットプラグツールのインストール】：

添付ソフトの【ホットプラグツール】をインストールします。

## 2-1. PCIボードの取り付け

1. パソコンの電源を切ります。

2. PCIスロットに、PCIボードを取り付けます。

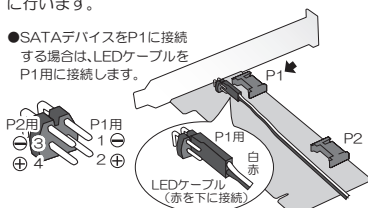


### 👉 取り付ける前に！

#### アクセスLEDケーブルを接続する場合

SATAデバイスのアクセスLEDケーブルを接続する場合、本製品をPCIスロットに取り付ける前に行います。

- SATAデバイスをP1に接続する場合は、LEDケーブルをP1用に接続します。



※本製品にアクセスLEDケーブルは添付していません。

### ⚠ 注意

- スロットに対し、ボードが傾いた状態で利用すると、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットに完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。



## 2 -2. ドライバのインストールと確認

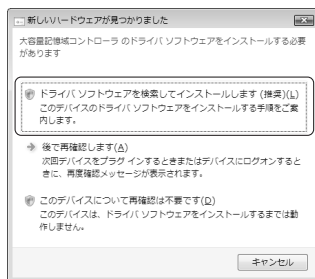
OS別にドライバのインストールとセットアップの確認手順を説明します。

- I. 【Windows Vistaの場合】: ⇒7ページ
- II. 【Windows XPの場合】: ⇒9ページ
- III. 【Windows 2000の場合】: ⇒10ページ

### I. 【Windows Vistaの場合】

#### I-1. ドライバのインストール

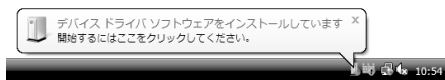
1. PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが認識され、次の画面が表示されます。  
“ドライバソフトウェアをインストールします”をクリックしてください。



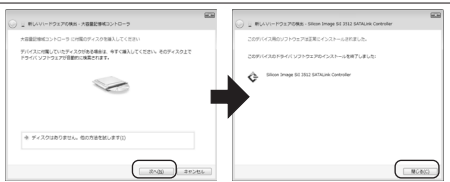
2. 次のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。



3. “インストールしています”の表示がタスクバーに表示されます。



インターネットに接続していない場合は、“ディスクを挿入してください”のメッセージが表示されます。製品添付のCD-ROMを挿入しドライバをインストールしてください。



4. 次の表示でインストール完了です。



## I-2. セットアップの確認

5. 本製品とドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。  
※以下、「デバイスマネージャ」の開き方(一例)を説明します。  
【スタート】→【コンピュータ】を開いてください。

6. コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



7. タスクから【デバイスマネージャ】をクリックしてください。



8. 次のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。

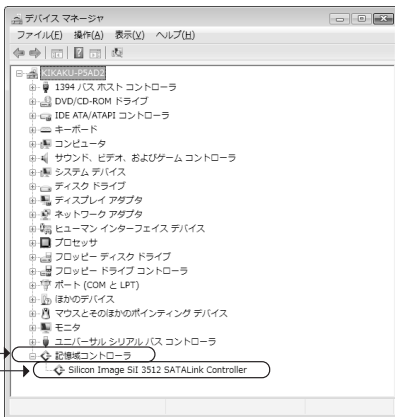


9. 【デバイスマネージャ】の画面から、【記憶域コントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller】が登録されている事を確認してください。



登録されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。6ページ 2-1に戻り、PCI ボードを確実に取り付け、再度インストールを行ってください。

- ①【記憶域コントローラ】をダブルクリック。  
②【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



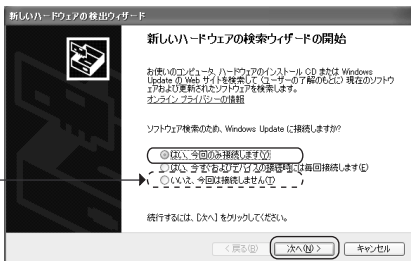
10. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。  
12ページ 2-3. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

## II. 【Windows XPの場合】

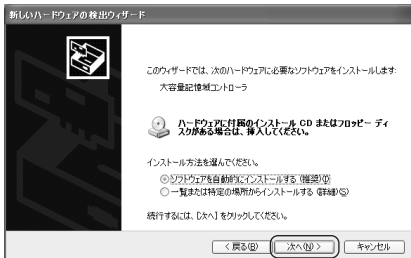
1. PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが認識され、“新しいハードウェアの検索ウィザード”が開始されます。

“はい、今回のみ接続します”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

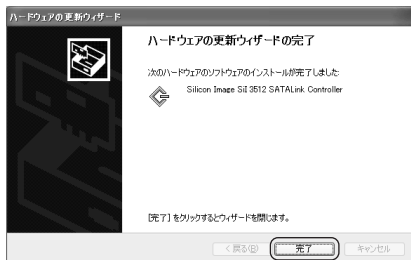
※インターネットに接続していない場合は、製品添付のCD-ROMからも、ドライバをインストールすることができます。



2. “ソフトウェアを自動的にインストールする”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



3. この画面になりましたら、ドライバのインストールは完了です。【完了】をクリックしてください。



11ページ IV.【セットアップの確認】へ進む

## III. [Windows 2000の場合]

1. PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIボードが認識され、“新しいハードウェアの検索ウィザード”が開始されます。

製品に添付されているCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入して【次へ】をクリックしてください。

2. “デバイスに最適なドライバを検索する”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

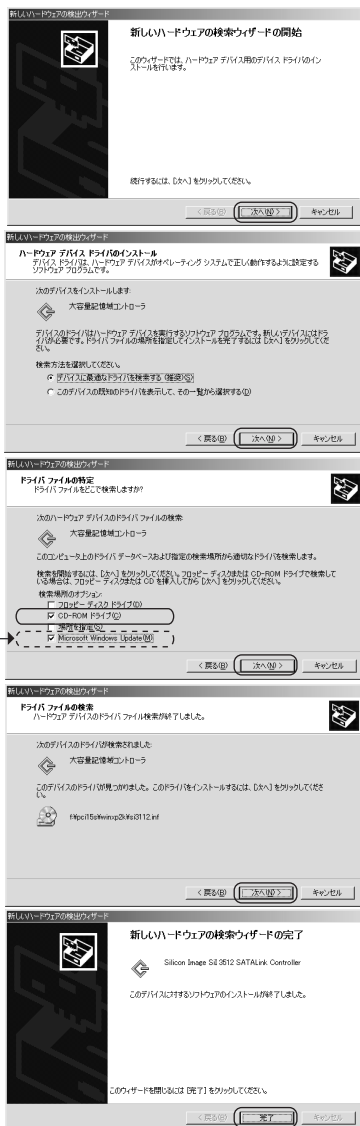
3. “CD-ROMドライブ”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

※インターネットに接続されている場合は、Microsoft Windows Updateからも、ドライバをインストールすることができます。

4. 【次へ】をクリックしてください。

5. この画面になりましたら、ドライバのインストールは完了です。【完了】をクリックしてください。

11ページ IV. [セットアップの確認]へ進む



## IV. 【セットアップの確認】

1. PCIボードとドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。  
下記の手順で“システムのプロパティ”を開いてください。

### Windows XPの場合

※Vistaの場合 ⇒8ページ

【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

### Windows 2000の場合

【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

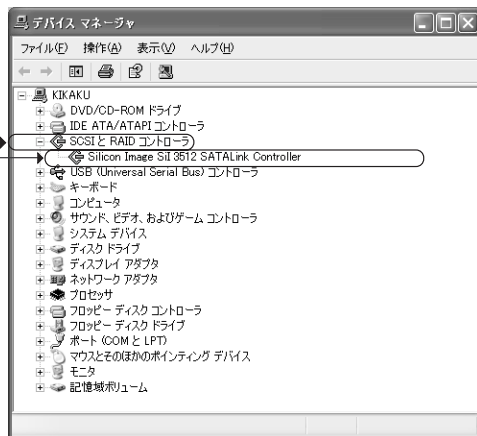
2. 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller】が登録されている事を確認してください。

- ①【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリック。

- ②【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller】が表示されている場合は、ドライバは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。6ページ 2-1に戻り、PCIボードを確実に取り付け(別の空きスロットに装着するなど)、再度インストールを行ってください。



4. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。  
12ページ 2-3. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

## 2 -3. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール

### ホットプラグツールについて

このツールは、パソコンの電源を落とさずにハードディスクなどのSATAデバイスの取り外し/交換を可能にするソフトウェアです。パソコン起動時にデバイスの取り外し、入れ換えをおこなう場合は、必ず本ソフトウェアをインストールしてください。

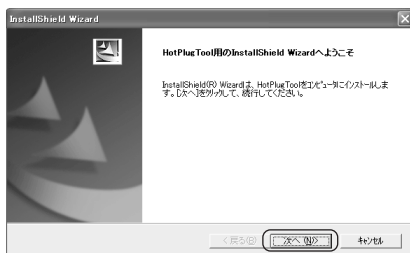
1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。

3. 【CDドライブ】を開き、【HotPlugTool】フォルダ内の【SetupHotPlugTool.exe】をダブルクリックしてください。



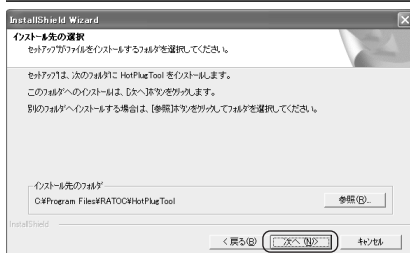
※拡張子(.exe)は、環境により表示されない場合があります。

4. 右記インストール画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。



5. インストール場所を確認する画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。

※ 別フォルダを指定する場合は、【参照】をクリックしてインストールするフォルダを指定してください。



6. インストール完了です。【完了】をクリックしてください。

※ “HotPlugToolをすぐに実行します。”にチェックを入れると、ホットプラグツールはタスクトレイに常駐します。(取り外し可能なSATAデバイスが接続されていない場合は、アイコンは表示されません。)



# 3

## ホットプラグツールの使い方

ホットプラグツール(添付ソフト)は、パソコンの電源を落とさずに、本製品のポートに接続したハードディスクなどのSATAデバイスを取り外し/交換(ホットプラグ機能)を可能にするソフトウェアです。

### 1. 【ホットプラグツールを使用する方法】:

ハードディスクの接続を例に説明します。

### 2. 【ホットプラグツールの設定画面について】:

ホットプラグツールを常駐する/しないなど、設定について説明します。

### 3. 【ホットプラグツールの終了について】:

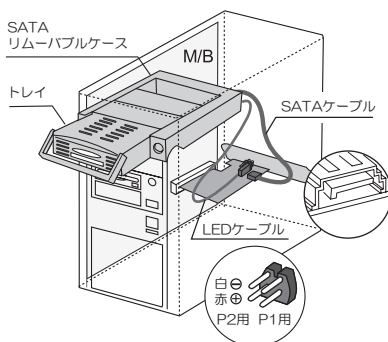
#### ⚠ 警告

- 取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本章の作業手順に従ってください。下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または、記録データが損失する場合があります。
- 本製品に接続したSATAハードディスクからシステム起動している場合、ホットプラグはできません。

## 3-1. ホットプラグツールを使用する方法

ハードディスクの接続を例に説明します。

### 1. 内蔵ハードディスクを接続します。



※ケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。

24ページ ③ オプション品のご案内を参照ください。

2. パソコンを起動し、SATA/ハードディスクを認識すると、デスクトップ右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

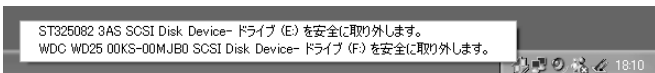
ハードディスクの取り外し/交換をおこなう場合、まずアイコン上でクリックしてください。



**👉 ご注意**

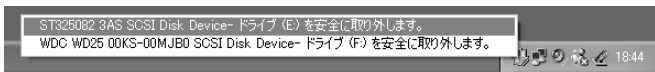
- 【ホットプラグツール】は常駐ソフトです。
- ホットプラグツールの初期設定では、機器を接続していない場合、および取り外し可能なデバイスが接続されていない場合(ダイナミックディスクなど)、アイコンは表示されません。
- ホットプラグツールのインストールをおこなっていない場合、アイコンは表示されません。

3. アイコンをクリックすると、接続しているドライブ情報が表示されます。

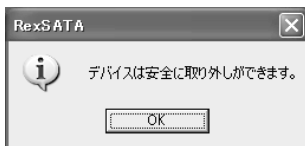


全てのWindowsでは、SATAデバイスを接続した時“SCSI Disk Device”と表示されます。表示されるデバイスの名称は接続するデバイスにより異なります。

4. 取り外すドライブを選択し、クリックしてください。



5. “デバイスは安全に取り外しができます。”のメッセージが表示されたら取り外し可能です。【OK】をクリックしてください。



**👉 Vistaでのご注意**

メッセージ表示時、必ずトレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。手順が異なるとドライブが再接続されます。

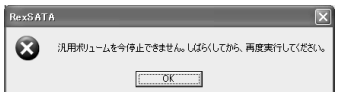


**⚠ 警告: 汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合**

このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 2. の手順からおこなってください。

ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視をおこなうソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。

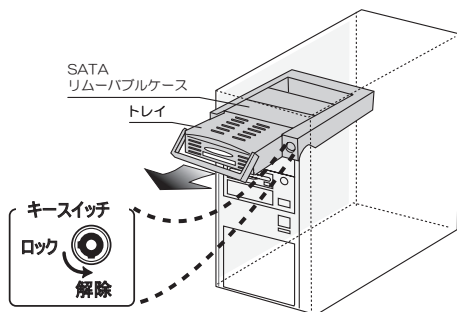
無理に取り外しをおこなうと、ハードディスクの破損、記録データの損失などが発生する場合があります。






## 6. ドライブを取り外します。

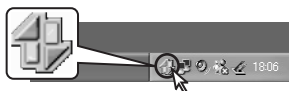
キースイッチのロックを解除して、トレイを取り外してください。



 トレイの交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

### 3 -2. ホットプラグツールの設定画面について

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。  
ここでは、ディスクの取り外し/ホットプラグツールの起動に関する設定/機能のカスタマイズが可能です。



#### ① ディスクの取り外し

現在接続しているSATAデバイスが表示されます。停止するデバイスを選択し【停止】をクリックすると、デバイスを取り外すことができます。

#### ② システム起動時にホットプラグツールを起動する。

ホットプラグツールを常駐させない場合、このチェックBOXのチェックを外してください。次回起動時から、ホットプラグツールは自動的に起動(常駐)しません。

※1:常駐させていない時の起動方法は、【スタート】→【すべてのプログラム(Windows 2000はプログラム)】→【Hot Plug Tool】内の【Hot Plug Tool】をクリックしてください。



※2:常駐時に※1と同じ操作をしたときは“ハードウェアの安全な取り外し”ダイアログボックスが表示されます。

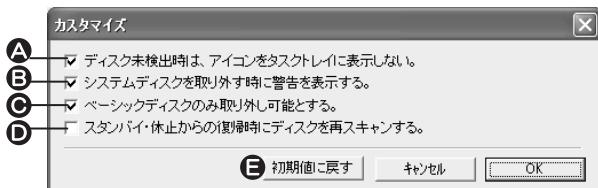
#### ③ 再スキャン

【再スキャン】をクリックするとデバイスの検索をします。ディスクが見つからない場合や、デバイス名がUnkown Deviceなどと表示される場合などに使用してください。

#### ④ カスタマイズ

【カスタマイズ】をクリックするとダイアログボックスが表示されます。ここでホットプラグツールの機能をカスタマイズすることができます。

⇒次ページに説明つづく



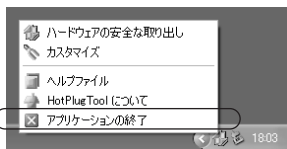
- A** ディスク未検出時は、アイコンをタスクトレイに表示しない。  
※チェックを外すと、ホットプラグツール起動時は常にアイコンが表示されます。
- B** システムディスクを取り外す時に警告を表示する。(上級者向き)  
※チェックを外すと、システムがインストールされている可能性があるディスクを外す場合でも、警告を表示しません。
- C** ベーシックディスクのみ取り外し可能とする。(上級者向き)  
※チェックを外すと、ダイナミックディスクなども取り外し対象となります。  
※ダイナミックディスクのドライブ文字は表示されません。
- D** スタンバイ・休止からの復帰時にディスクを再スキャンする。  
※復帰時にディスクが見つからない場合にチェックしてください。  
※正常なパソコンではチェックをONにしないでください。再スキャン処理にかかる余計なリソースを消費します。
- E** 「初期値に戻す」ボタン  
※クリックするとチェックON/OFFを初期値に戻します。

**ご注意**

【B.C.について】システムディスク/ダイナミックディスクの取り外しはシステムエラーの発生リスクを伴います。ご注意ください。

### 3 -3. ホットプラグツールの終了について

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されますので、“アプリケーションの終了”を選択してください。



**アイコン表示がないときは**

ディスク未検出でアイコン表示がないときに、“アプリケーションの終了”をおこないたい場合は、まず、スタートメニューからHot Plug Toolを選択し、カスタマイズ(上記A参照)により、アイコンを表示させてください。

# 4

## ホットプラグツールの削除

### Windows Vistaの場合

※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムのアンインストール】（クラシック表示では【プログラムと機能】）を選択してください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【アンインストール】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【はい】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



### Windows XP/2000の場合

※例はWindows XPの画面です、Windows 2000では画面が若干異なります。

※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】（Windows 2000は【アプリケーションの追加と削除】）を開いてください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【変更と削除】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



# 5

## PCIボード経由でOSをインストールする

本製品に接続したハードディスクへ各OS(Windows Vista/XP/2000)をインストールするには、以下の手順で行います。

### 1. 【ジャンパースイッチを設定する】:

OSをインストールする前に、本製品のBIOS設定を有効にします。

### 2. 【PCIボード経由でOSをインストールする】:

インストールの概略手順について説明します。

I. 【Windows Vistaの場合】: ⇒19ページ(本ページ)

II. 【Windows XP/2000の場合】: ⇒20ページ

### ⚠️ ご注意

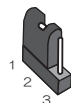
本製品に接続したSATAハードディスクにOSをインストールすることができます。  
ただし、パソコンにより方法が異なりますので、サポートおよび動作保証の対象外となります。

## 5-1. ジャンパースイッチを設定する

本製品をPCIスロットから取り外し  
ジャンパースイッチをenable(BIOS有効)  
へ変更します。

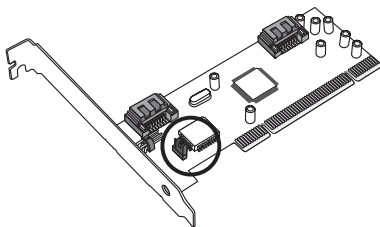


2-3 disable BIOS※



1-2 enable BIOS

※出荷時の設定は、disable(無効)です。



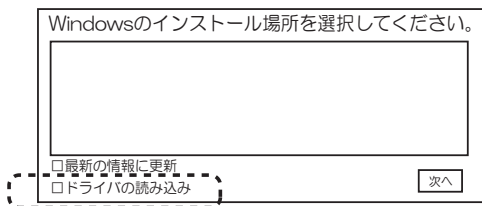
## 5-2. PCIボード経由でOSをインストールする

### I. 【Windows Vistaの場合】

※ジャンパースイッチを設定してから、インストール作業をおこないます。

1. 製品添付CD-ROMを用意します。
2. OSのDVDをセットして、DVDからシステムを起動します。
3. Windowsのインストール画面が表示されますので、画面の指示に従って進めてください。

4. 次の画面で、「ドライバの読み込み」をクリックしてください。



5. メディアを要求されますので、OSのDVDを取り出して、製品添付のCD-ROMに入れ替え、「参照」をクリックしてください。
6. フォルダの参照画面が表示されますので、ツリー表示から「CDドライブ」の「PCI15S」の中の「WinXP2K」(64ビット版の場合は「WinXP64」)フォルダを選択し、「OK」をクリックしてください。
7. インストールするドライバで「Silicon Image SiI3512 SATALink Controller」を選択し「次へ」をクリックしてください。
8. 「Windowsのインストール場所を選択してください」の画面で、本製品に接続されたハードディスクを選択し「次へ」をクリックしてください。
9. Windowsのインストールディスクを要求されますので、製品添付のCD-ROMを取り出して、OSのDVDに入れ替え、「OK」をクリックしてください。
10. 以上で、本製品に接続したハードディスクへのOSインストールが開始されます。

## II. 【Windows XP/2000の場合】

※ジャンパースイッチを設定してから、インストール作業をおこないます。

1. フォーマット済みのフロッピーディスクを用意し、製品添付CD-ROMの [PCI15S]フォルダー→[WinXP2k]フォルダの中身をコピーしてください。

コピーするファイルは、以下の8点です。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ●Si3112.cat | ●TxtSetup.oem |
| ●SiSupp.cpl | ●SiWinAcc.sys |
| ●Si3112.inf | ●SiRemFil.sys |
| ●Si3112.sys | ●SiSupp.vxd   |



Windows XPx64の場合は、[WinXP64]フォルダの中身をフロッピーディスクにコピーします。

2. OSのCDをセットして、CD-ROMからシステムを起動します。
3. システム起動中に、本製品に接続したSATAハードディスクの型番と容量が、次のように表示されていることを確認してください。

Sil 3512A SATALink BIOS Version 4.3.76  
Copyright (C) 1997-2005 Silicon Image, Inc.

0 WDC WD2500KS-00MJB0 232 GB

 型番と容量はご使用のハードディスクによって表示が異なります。

4. 画面左上に「Windows Setup」と表示され、画面下に「Press F6- if you need to install a third party SCSI or RAIDdriver.....」と表示されている間に[F6]キーを押します。
5. インストールの途中で以下の画面が表示されたら、[S]キーを押してください。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices

....  
<none>

\* To specify additional SCSI adapters, CD-ROM devices, or special disk controllers for use with Windows, including those for manufacturer, press S.

\* If you do not have any device support disks from a mass storage device manufacturer, or do not want to specify additional mass storage devices for use with Windows, press ENTER

S = Specify Additional Device    ENTER = Continue    F3 = Exit

6. ディスク挿入を促す下の画面が表示されます。  
“1.”で作成したフロッピーディスクをセットして[Enter]キーを押します。

Please insert the disk labeled  
Manufacturer-supplied hardware support disk  
into Drive A:

\* Press ENTER when ready

7. 下記のように表示されます。  
インストールする各OSに合わせて選択し、インストールを続行します。

<Windows XPx64の場合>

Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller(AMD 64-bit)

Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller(Intel 64-bit)



XPx64の場合は、必ずAMD 64-bitを選択してください。

<Windows XPの場合>

Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller for Windows XP/Server 2003

<Windows 2000の場合>

Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller for Windows NT 4.0 and 2000

8. 以上で、本製品に接続されたハードディスクへ、OSのインストールが開始されます。

# 6

## お問い合わせ

### 6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

#### ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんびル

TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410

FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00

土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。  
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

### 6-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証をおこなう場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証を行い、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くてもダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト( <http://p-key1.ratocsystems.com/> )をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。



## 6-3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。  
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。  
また修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター  
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル  
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本  
・製品  
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。  
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。  
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。  
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

## 7

## 一般仕様

型番	REX-PCI15S
名称	SATA PCIボード
対応 OS	Windows Vista/XP/2000 ※Windows Vista/XPは64ビット版にも対応
対応機種	PCIスロット (PCI Rev.2.1以降) を装備したWindows PC ※1
バスインターフェイス	32ビットPCIバス (PCI Local Bus Specification Rev 2.3準拠) 3.3V/5VユニバーサルPCIボード
SATAコントローラー	SiI3512
接続コネクタ	SATAコネクタ×2
データ転送速度	1.5Gbps (SATA理論値)
電源電圧	DC +5V (PCIスロットより供給)
動作環境	温度: 0~55℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約46.5mm(W)×120mm(L) ブラケット部含まず (標準/Low Profile 両対応)
重量	約 44.5g
製品内容	REX-PCI15S (SATA PCIボード)、Low Profileブラケット ソフトウェアCD-ROM、ユーザーズマニュアル、保証書 (1年間)
添付ソフトウェア	ドライバソフトウェア、ホットプラグツール
保証期間	1年間

※1: nForceおよびnForce2チップセット搭載マザーボードでは使用できません。

※出荷時のBIOSは無効 (Disable) に設定しています。

※本製品に接続したハードディスクからのシステム起動は、BIOSを有効 (enable) に設定すると可能になります。

※本製品は複数枚の使用はできません。

※他のSCSI、ATA、SATA増設ボードと同時に使用できません。

## 8

## オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番	品名
RCL-SATA-06S	SATAケーブル 約60cm
RCL-SATA-06	SATAケーブル 約60cm/片側ライトアングル
RCL-SATA-10	SATAケーブル 約100cm
RCL-ESATA-10	eSATAケーブル 約100cm

上記ケーブルの他、SATA/eSATAリムーバブルケース各種を取り揃えています。

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-PCI15S	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	<input type="checkbox"/> Windows Vista <input type="checkbox"/> Windows XP <input type="checkbox"/> Windows 2000 ※該当の方はチェック ⇒ <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用している			
接続機器	分類	<input type="checkbox"/> ハードディスク <input type="checkbox"/> その他( )	型番	
	メーカー名			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> デバイスマネージャのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> その他( )			

※1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows 2000:プログラム)]-[アクセサリ]-[システムツール]-[システム情報]を選択します。
- (2) Windows Vista/XP:[ファイル]-[エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。  
Windows 2000:[操作]-[一覧のエクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。  
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。  
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

**RS** **RATOC**  
**Systems, Inc.**  
<http://www.ratocsystems.com/>



© RATOC Systems, Inc. All rights reserved.  
Printed in Japan